



もしも!のときはどうするの?

もしもガス漏れに 気づいても、あわてずに!

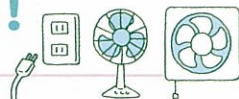
火気の使用は絶対禁止!

コンロを使用している場合は直ちに火を止めます。その後も火気は厳禁。ライターやマッチ、タバコの火はガスが引火する恐れがあり、大変危険です。



火花が出るものには触らない!

換気扇、扇風機などのスイッチからは火花が出ることがあります。スイッチやコンセントには絶対に触れないでください。



ガスを外に追い出してすぐに連絡!

①ガスを外に追い出そう!

戸や窓を大きく開けて、換気しましょう。
※LPガスは空気よりも重く、漏れると低いところや物かげにたまる性質があります。ご注意ください。



②すべての火を消し、ガス栓を閉めよう!

屋内ガス栓・器具栓も閉めてください。容器バルブも忘れずに閉めましょう。



③LPガス販売店または保安機関に連絡を!

連絡の際は氏名・住所・状況などをお知らせください。点検を受けるまでガスを使用しないでください。
※販売店への連絡先は裏表紙に記載しています。

小型湯沸器をお風呂や 洗髪に使わないで!

小型湯沸器をお風呂や洗髪などで長時間使うと、不完全燃焼の原因となり、大変危険です。絶対におやめください。

※点火時やご使用中に火が消える場合は、安全装置が作動している可能性がありますので、再点火はせず、直ちに使用を中止して、ガス機器の購入先やLPガス販売店または保安機関にご連絡ください。



もしも自然災害が 起っても、落ち着いて!

地震が起こった!

まずは身の安全を確保して、二次災害防止のため、揺れが収まった後に火をすべて消し、器具栓、ガス栓を閉め、屋外の容器バルブも閉めてください。



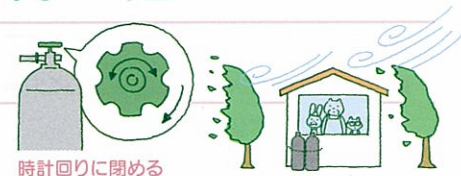
火災が起こった!

容器バルブを閉め、消防署員などに容器の位置を知らせて、後の処理を頼んでください。



大型台風が来た! 洪水が起きた!

大きな台風や洪水の恐れがあるときは容器バルブを閉め、容器が倒れたり流されたりしないように、固定されているかを確認してください。



もしものときに自動でストップ!!

マイコンメータ

ガス漏れなどガスの流れや圧力などの異常があると、マイコンメータが自動的にガスを遮断します。

●お風呂やコンロを消し忘れたとき ●ガス使用中に震度5以上の地震が発生したとき ●ゴム管が外れたとき ●大量のガスが流れたとき
※復帰ボタンを押してすぐ離し、1分間待てば復帰させることができます。



ヒューズガス栓

コンロなどの燃焼機器の近くに使用されるガス栓です。誤ってホースが抜けても、内部のヒューズが作動してガスの流出を止めてくれます。



おすすめします。キッチンに安心機能

Si センサーコンロ

安心便利な機能(調理油過熱防止装置・立ち消え安全装置)が付いています。



調理油過熱防止装置
鍋が過熱すると自動的にガスを止めます。



立ち消え安全装置
煮こぼれや吹きこぼれ、強風などで火が消えると、自動的にガスを止めます。